



2025年 第134号  
社会福祉法人 大府福祉会



## 2025年を、どんな年にしますか

社会福祉法人  
大府福祉会理事長 安井孝昭

2025年が始まりました。皆さまにとってどのような年になるのでしょうか。ここから続く日々は、2024年の延長ですが、同じ日々の繰り返しではありません。新しい出会いや発見、体験から視野が広がる1年になると良いですね。年齢も1つ上がります。私事ですが、若い方から元気をいただくことはもちろんのこと、年上の方から活力・勇気をもらうことも多くあります。あの人のように生きてみたいと思える人に出会うと、年齢を重ねることは悪くはないなと感じます。そして私も“あの人”のようになれたらと思うのです。組織のベテランさんへ。元気でいましょう、前向きに仕事をしましょう。“あの人”のように後輩が目指したい先輩でいてください。

さて、当法人は今年が法人設立40周年を迎える節目の年です。40年を支えてくださった多くの方に、あらためて感謝を表す1年になります。そして50年に向けて気持ちを高めていく1年にもなります。“福祉業界に元気をお配りできる”記念事業を実施したいと思っています。地域の皆さま、寄付者・ボランティアの皆さま、取引業者さま、そして行政機関・福祉関係機関・医療関係機関・同業法人の皆さま、いつもお世話になり、ありがとうございます。今年も大府福祉会を、よろしく願いいたします。

利用者・ご家族の皆さま、一緒に歩いていただき、ありがとうございます。

2025

聴き・寄り添い・動く



# 人材育成

## 「実践発表会・法人内他事業所実習」

大府福祉会は人材を大切に考え(人財)、在職している職員に向けて、そしてこれからの世代に向けて人材育成の取り組みを行っています。大府福祉会が行っている様々な取り組みについて紹介をします。



### 大府福祉会 実践発表会



8月9日(金)大府福祉会実践発表会を行いました。『行事や療育活動の工夫』のテーマで、法人内他施設に知ってほしいことや参考になる事例を上げて共有しました。PowerPoint を使った資料作成、人前での発表を通し、プレゼンテーション力の向上を目指しています。発表を通じて職員が刺激し合いながら、自己研鑽できる貴重な場となっています。下記、各施設の発表をご紹介します。

あけび苑が大切にしている主体性、表現について(おまかせ外出、パラアートおおぶ)

東あけび苑の行事や療育活動の工夫(芸能祭、利用者参加型のイベント、リハビリ)

ひだまりの療育活動の工夫(すごろく体操→個々の利用者にスポット、個別対応)

たくと大府の療育活動、行事の体制(メンバー構成の配慮、興味関心を引く工夫)

あけびの実の出張販売と外食イベント(作業能力表の活用、自ら選択する→労働意欲の向上)

「そら」のホーム行事とヘルパー活動の工夫(世話人の存在、希望を実現するための配慮等)

みのりの療育活動・行事の工夫(食形態表の作成、リハビリ参観、楽しむ気持ちを忘れずに)

本部事務局 社会福祉法人の役割について(大府福祉会の組織体系を中心に)



### 法人内他施設実習



今年度から職員が希望する法人内の他事業所に出向いて実習するという取り組みを行っています。他の良いところを参考に、自分たちの事業所に活用できることや気づきなど、新しい発見がありました。職員の声をお聞きください。

みのり(大淵愛)→東あけび苑での実習について

成人の施設の経験がほとんどない中で、東あけび苑に実習に行かせていただきました。今、自分の見ている子どもたちが将来どのように社会に出ていくのか、イメージがつくようになりました。子どもたちへの支援を、今のことだけ考えるのではなく将来どのように育てほしいか、そのために必要な支援は何か、見通しを持って関わっていただけたらと思いました。また、加齢における健康管理などにも必要な支援であると、学ぶことが出来て良かったです。

東あけび苑(山口柊翔)→たくと大府での実習について

法人内体験実習でたくと大府に2日間行ってきました。たくと大府では朝の出迎えから職員一人ひとりの動きが決まっていて、利用者さんそれぞれに個別対応をして着替えなどがスムーズに行えるようになっていました。日課では職員同士の連携が徹底され、何かあってその場を離れても別の職員がカバーできるような体制になって素晴らしいと思いました。最後に実習を踏まえて支援者として足りない知識はたくさんあるので、先輩職員に聞き、一つひとつ成長していきたいです。

今後も職員の他事業所実習を行い、業務に活用できるようにしていきたいと思っております。



# 次世代への福祉教育

## 「福祉実践教室・小学生体験」

大府福祉会では小学生や中高生の福祉教育に積極的に関わり、福祉の魅力を伝えていきたいと考えています。今年度も「福祉実践教室」と夏休みに行う「小学生体験」を福祉教育として実施しました。今回は講師をしている職員、小学生体験を実施した施設にそれぞれ様子をお聞きしました。

### ～福祉実践教室～

福祉実践教室は、障がい者への正しい理解と福祉向上を目指すことを目的として開始されました。小・中・高校生を対象に、大府市社会福祉協議会の主催で実施しています。講義の内容は、車いすを使った講義や視覚障害者ガイドヘルプについてなど福祉に関する様々な講義を生徒さんが、自ら選択して講義を受けます。

私は、「知的障がいのある人について学ぼう」というテーマで講義をしています。障がいについて、基本的な理解から、知的障がいのある方が抱える暮らしにくさを、疑似体験を取り入れながら生徒さんに学んでもらっています。講義を受ける生徒さんは、皆さんまじめで、自分たちにできる福祉は何かを一生懸命考えながら講義を受けてくれています。福祉実践教室を通じて、知的障がいのある方への理解だけでなく、福祉という仕事の魅力や、やりがいを生徒さんに知って欲しいという想いを込めてこれからも講師をしていきたいです。

「そら」 杉浦弘晃

### ～小学生体験「夏休みふくし体験会」～

大府市発達支援センターみのりでの「夏休みふくし体験会」は、昨年度に引き続き「夏まつり」（今年度は夏フェス）のお手伝いをしてもらいました。6年生3名、4年生2名、3年生1名の計6名が開催日3日間に分かれて、各ブース担当として活躍してくれました。みのり利用児のごきょうだい、いとこの小学生、昨年度に引き続きチラシを見て参加してくれた小学生、みんな責任感を持ってしっかりとお手伝いをしてくださり、とても頼もしかったです。体験後のアンケートでは、「他の子もいたからみんなで協力できたのが良かった」「様々な人たちと交流して楽しむことは、重要なことだと感じた」「お客さんをえがおにできてうれしかった」等ありました。

これからも「ふくし体験会」を通して「障がいのある人を理解する」だけでなく、「様々な人と交流する」ことで繋がったり、みんなが笑顔になれるといいなと思いました。



# いつもご協力ありがとうございます！！

## 秋のイベントにご協力くださっている方々の紹介

9月22日(日)「大府市福祉・健康フェア」、11月3日(日)「東あけび苑フェスタ・たくと大府フェスタ」が今年度も無事にそれぞれの会場で開催されました。今回は、「大府市福祉・健康フェア」、「東あけび苑フェスタ・たくと大府フェスタ」にご協力くださっている方々の紹介ということで、長年、イベントを支えてくださっている方々に焦点を当ててみたいと思います。

### 大府市福祉・健康フェア：「同じ時間を過ごすことの大切さ」



あけび苑は毎年「大府市福祉・健康フェア」の会場のひとつとして施設を開放し、施設紹介や模擬店・ゲームコーナーなどを通して、障がい福祉の啓発と市民の皆さんとあけび苑の利用者との交流の機会になるように取り組んできました。そして、この福祉健康フェアへのあけび苑の参加は、多くのボランティアさんに支えていただいています。

あけび苑の地元の石ヶ瀬地区で大変お世話になっている石ヶ瀬コミュニティの皆さんは、毎年焼きそばの模擬店でフェアを盛り上げてくださいます。また、大府市更生保護女性会の皆さんも毎年お手伝いしてくださり、模擬店などで活躍いただいています。さらに、株式会社豊田自動織機長草工場班長会の皆さんにも毎年ご協力をいただき、今年度は射的コーナーで多くのお子さんを楽しませていただきました。他にも、あけび苑会場のステージイベントでは、ボランティア「春夏秋冬」さんや鳴子踊りチーム「でらおおぶ」さんが会場を盛り上げてくださり、個人ボランティアとして至学館大学の学生さんや桃陵高校専攻科の生徒さんもお協力くださいました。今年も多くの方々に大府市・福祉健康フェアのあけび苑会場を支えていただきました。

イベント後にボランティアの皆さんに感想を聞くと、「はじめは不安だったが、一日を通して利用者さんと仲良く過ごすことができて楽しかった」との言葉をいただき、利用者さんの魅力を知ってもらうには同じ時間を一緒に過ごすことが大切なんだと改めて感じました。



一緒に楽しい時間を過ごしていただき、ありがとうございます！





## 東あけび苑フェスタ「繋げてきた絆」



今年度も晴天の中、多くの方々の支えがあり、東あけび苑フェスタが開催されました。今回はその中から東あけび苑フェスタと一緒に盛り上げてくれた方々を紹介します。

最初は、**大府市更生保護女性会**の皆さんです。東あけび苑が過去に行っていた、もちつき大会からお手伝いしていただいております。今年度は8名の方が来てくださいました。利用者さんと一緒にコロッケ・ジュース等の販売やゲームコーナーを担当してくださいました。毎年のように来ていただいて心強いです。次に**椋山女学園大学**の学生さんです。毎年、介護等体験実習を東あけび苑で行っています。実習後にフェスタのお手伝いをお願いすると快く受けてくださいました。当日は実習中に仲良くなった利用者さんたちに「お久しぶりです」とたくさんの声を掛けてくださり、フェスタは和やかな雰囲気です。その後利用者さんと一緒に綿菓子を作る笑顔いっぱいに行っていました。今年度も多くの方たちのおかげで成り立ち、大成功となった東あけび苑フェスタです。ご協力くださった方たちが繋げてくれた絆を今後も大切にしていきたいと思っております。



東あけび苑フェスタ



たくと大府フェスタ



ニツ池セレトナ 島田館長



## 東あけび苑フェスタ・たくと大府フェスタ:「地域の方へ恩返し」



セレトナフェスタ、東あけび苑フェスタ、たくと大府フェスタの同日開催で連携させていただいている、ニツ池セレトナの島田館長さまにお話を伺いました。

「ニツ池セレトナは自然体験学習をテーマとした施設となっております。子どもたちにとって貴重な学びの場となっております。その様な特徴を活かし、体験コーナーやニツ池を一周するスタンプラリーなどを取り入れた他のところでは体験できないことが多いフェスタを行っています。そのようなセレトナフェスタは、日頃お世話になっている地域住民の方に対し、恩返しをしたいという目的があります。自然を身近に感じながら体験していただくことで、学びの場となり、自然に触れ合う楽しさを知ってほしいという思いが込められています」。

「その中で、東あけび苑やたくと大府と連携し、フェスタを同日開催することで、より多くの方に足を運んでいただき施設と地域の方との交流が広がりました。また、今まで知らなかった障がい者施設について知る機会にもなりました」。

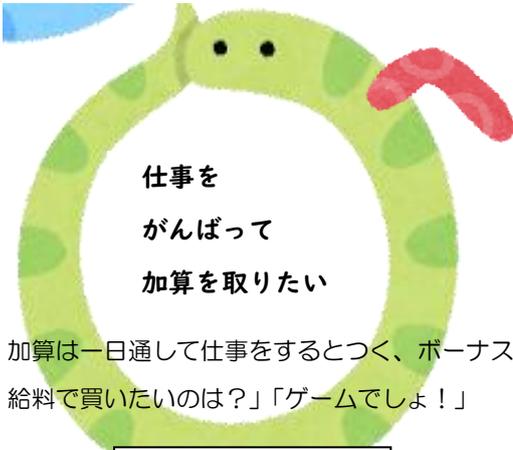
島田館長さまありがとうございました。私たち職員の思いとして、今後もセレトナさんと連携し、地域の方へ日頃の恩返しを行いながら、両施設のことを知ってもらえるフェスタを継続していきたいです。



# 年男・年女に聞きました

今年巳年。大府福祉会の利用者さんや職員にもたくさんの年男・年女がいます。その中から6名の方に聞きました。

## 今年の抱負は何ですか？



仕事を  
がんばって  
加算を取りたい

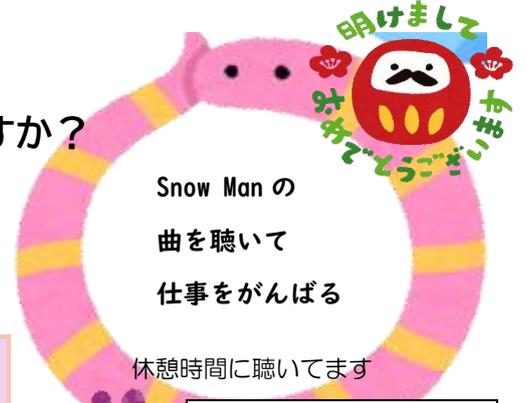
加算は一日通して仕事をするにつく、ボーナス。給料で買いたいのは？」「ゲームでしょ！」

あけび苑 樋口 誠也



### あの頃の流行語

- ♪1965年 「フィーリング」
- ♪1977年 「普通の女の子に戻りたい」
- ♪1989年 「24時間戦えますか」
- ♪2001年 「聖域なき改革」
- ♪2013年 「今でしょ！」



Snow Manの  
曲を聴いて  
仕事をがんばる

休憩時間に聴いてます

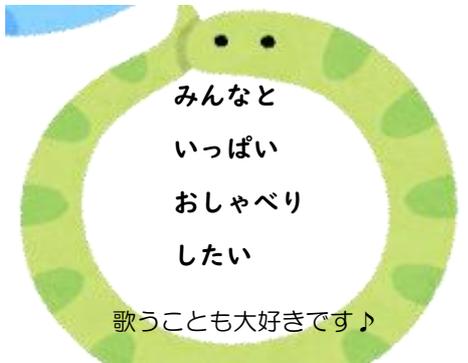
あけびの実 鎌本 紗季



ひだまりで  
みんなと仲良く  
したい

みんなでボウリングしたりしてます。

ひだまり 田中 龍治



みんなと  
いっぱい  
おしゃべり  
したい

歌うことも大好きです♪

たくと大府 糸 有紗

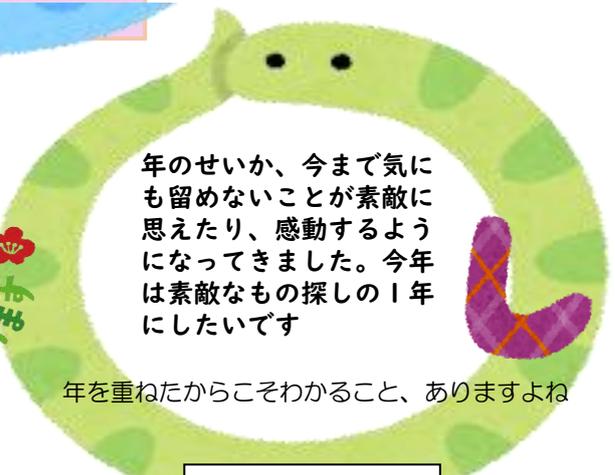


仕事を  
がんばりたい

給料でラーメン食べたいな

東あけび苑 白川 姫乃

仕事熱心な方が多い!



年のせいか、今まで気にも留めないことが素敵に思えたり、感動するようになってきました。今年は素敵なもの探しの1年にしたいです

年を重ねたからこそわかること、ありますよね

「そら」小島 康明

巳年はこれまで努力してきたことが実を結び始める年だと言われています。また蛇は脱皮をすることから、新たな挑戦や変化に前向きになると言われています。



仲間と生活や仕事ができる  
穏やかな1年でありますように



## 『買物送迎サポート定期便』始めました



東あけび苑 施設長 鈴木悦彦

令和6年8月23日(金)10時、近崎ふれあい会館からマックスバリュ大府横根店に向けて6名の地域住民を乗せたワンボックスカーが出発しました。大府福祉会が実施する新たな事業「買物送迎サポート定期便」のスタートです。

昨年度、社会福祉法人として地域に貢献する新たな事業を検討していく中で、交通手段がなく自力で買物に行く事ができずに困っている人たちがいる地域があることを聞き、何か役に立てることはないかと大府市に相談したことから始まったこの事業は、大府市で初めて「高齢者移動支援事業補助金」を活用し、今年度はモデル事業として取り組みを開始しました。

大府市の北部は近くに大きな商業施設がなく、自家用車などの外出手段がない一部の高齢者が自由に買物をする事ができずに困っている状態とのことでした。そこで大府市、大府市社会福祉協議会、その地域の自治区、自治会と共に協議を重ね、令和6年7月に新規オープンするマックスバリュ大府横根店にご快諾いただき、高齢者移動支援事業を実施することになりました。東あけび苑が送迎等に使用している車両で法人の役職員がドライバーになり、毎週金曜日の午前中に地域の指定場所とマックスバリュ大府横根店を1往復する、自由に買物に行く事が難しい高齢者を送迎するサービスです。この事業には東あけび苑就労継続支援B型事業の利用者が補助スタッフとして同行し車両への乗降時の手助けや買物後の荷物の積み下ろしなどを仕事の一環として取り組むことで、東あけび苑利用者への就労支援という一面を併せ持っています。社会福祉協議会、自治区、自治会の皆さんには広報活動にご協力いただき、大府市からは補助金の交付を受け事業を運営しています。補助金はガソリン代や送迎時に使用する必要備品の購入、送迎をサポートする補助スタッフの工賃などに充てています。



地域の方の乗降の様子

現在、毎回5名程度の地域の方に明るく楽しく利用していただき「免許返納後の買物へ行く足として助かっている」「毎週楽しみにしている」「行き帰りの車内でのおしゃべりなど、利用している人同士の交流が楽しい」「スーパーへ行きたくさんの商品の中から自分の目で見えて選んで買物できるのがありがたい」といった感想が寄せられています。これまでも移動販売車やネット販売を利用するという買物の手段はあったようですが、やはり外出し実際にお店で自ら買物をする楽しみには代え難いようです。



買物の様子

今後、利用希望者が増加した時には車両の確保やスタッフの増員などが課題となってきますが、大府福祉会がこのモデル事業に注力し安定的に継続して実施し定着させることで、社会福祉法人の責務である地域貢献を実践することができます。そして来年度以降、同様の問題を抱える別の地域でも他の社会福祉法人の協力を得てこの事業が展開されることを期待しています。



2024年 寄付者・募金箱設置協力者



● ありがとうございます ●

- ● あけび苑家族会 東あけび苑家族会 全日本不動産協会愛知県本部中央支部 池田直博 石ヶ瀬コミュニティ推進協議会 卯っ娘 大府歯科医院 柏木産業(株) 大府市更生保護女性会 大府市手をつなぐ育成会学齢グループ おはようくん 菓蔵 門脇武 Café de Point (株)豊田自動織機 かりや愛知中央生活共同組合 エコパーク 神田地区民生児童委員協議会 吉左右 久鐵 串泉 軽食・喫茶ぴおね 松葉 子育て支援サークルあそびのいっぽ 後藤敦司 伍島園 近藤産興(株) サンおおぶ 秀文堂 秀味家 スポーツキューブ共栄 だるま酒場 ファミリーステーキ「がぶっとごっくん」 住友重機械労働組合連合会名古屋地方本部 近崎ふれあい会館 デンソーはあとふる基金事務局 峠のお店 ナイル 新美貞芳 ばーばら 柗みみはなのどクリニック 豊田自動織機労働組合 ビオ・トープ 美容室アール 美容室リッチ ふじ寿司 藤本房子 豚そばざんや まるはち まるはちラーメン 麺の坊晴レル屋 株式会社トヨタシステムズ Attract 奥山 麺やOK 焼肉大豊 ヤマト商店 吉田憲子 楽喜 レクサス東海 ロダン美容室 ろばた夢弥もん吉 その他匿名の皆様 (敬称略・順不同)

公益財団法人  
JKA様より  
車両



市民向け勉強会 参加無料 定員 20名

こんな時はどうするの? ~知って欲しい 知的障がいについて~

〈内容〉・知的障がいの特性や必要な配慮 ・地域生活や仕事の困りごとについて

〈日時〉2025年2月12日(水) 9:45~11:45 〈場所〉おおぶ文化交流の社 会議室1・2

〈対象〉市民・学生の皆さん、障がい者雇用している会社の方 等

〈問い合わせ先〉あけび苑(平林・田中) TEL 0562-48-3023 FAX 0562-48-1987  
E-mail [akebien@r2.dion.ne.jp](mailto:akebien@r2.dion.ne.jp)

ホームページで  
カラー版  
「ほほえみ」  
ご覧ください。



お申込みはこちら  
TEL・FAX・メールも可能



機関紙  
**ほほえみ**  
2025年 新春号

発行：社会福祉法人 大府福祉会 編集：地域広報部会  
 ☎474-0011 大府市横根町名高山 78 番地 2  
 TEL：0562-85-5228 FAX：0562-85-5229  
 E-mail： [obufukushikai1985@aroma.ocn.ne.jp](mailto:obufukushikai1985@aroma.ocn.ne.jp)  
 URL： <https://www.obufukushikai.com>



社会福祉法人  
大府福祉会

facebook  
やっています

